

**「ノン・プロジェクト無償資金協力（洪水被害対策）」
及び無償資金協力「国立、市及び州病院医療機材整備計画」に関する交換公文への署名**

3月20日（火）、外務国際協力省において、黒木雅文駐カンボジア大使とウィット・ポリット外務国際協力省長官との間で、「ノン・プロジェクト無償資金協力（洪水被害対策）」（供与額：6億円）及び無償資金協力「国立、市及び州病院医療機材整備計画」（供与限度額：3億7,400万円）に関する交換公文への署名が行われました。

「ノン・プロジェクト無償資金協力（洪水被害対策）」は、カンボジアが洪水被害からの復旧と今後の防災に向けた取組を推し進める上で必要となる建設用資機材（エクスカベーター、ブルドーザー、ダンプトラック等）を購入するための資金を供与するものです。昨年の洪水により、多くの道路において長時間の冠水により舗装・路盤が損傷しており、カンボジア政府は復旧・復興に向けて改修に取り組んでいます。作業に用いられる建設機材の不足・老朽化が支障となっています。本件協力は、当地の洪水被害からの早期復興に向けた努力を支援するものです。

「国立、市及び州病院医療機材整備計画」は、プノンペン都に所在する国立4病院及び都・16州都に所在する17のレファレル病院に対して、基礎的医療サービスに必要な機材及び設備（一般X線撮影装置、超音波検査装置、患者監視装置等）を調達するための資金を供与するものです。カンボジアでは、主要な病院においてこれらの医療機器が十分整備されていないため、基本的な医療サービスが提供できない状況です。本件協力により当地保健省が定める機材整備基準を満たすこととなり、対象医療機関における医療サービスの質、量が向上することが期待されます。

式典では、黒木大使がスピーチを行い、本プロジェクトがカンボジアの経済活動の向上及び国民の福祉に貢献するとともに、日本とカンボジアとの良好な関係が一層強化されることを期待する旨述べました。続いて、ウィット・ポリット長官が、日本政府及び日本国民への感謝の意を表明するとともに、洪水被害からの早期復興及び適切な医療サービスの提供に努めていく旨述べました。

